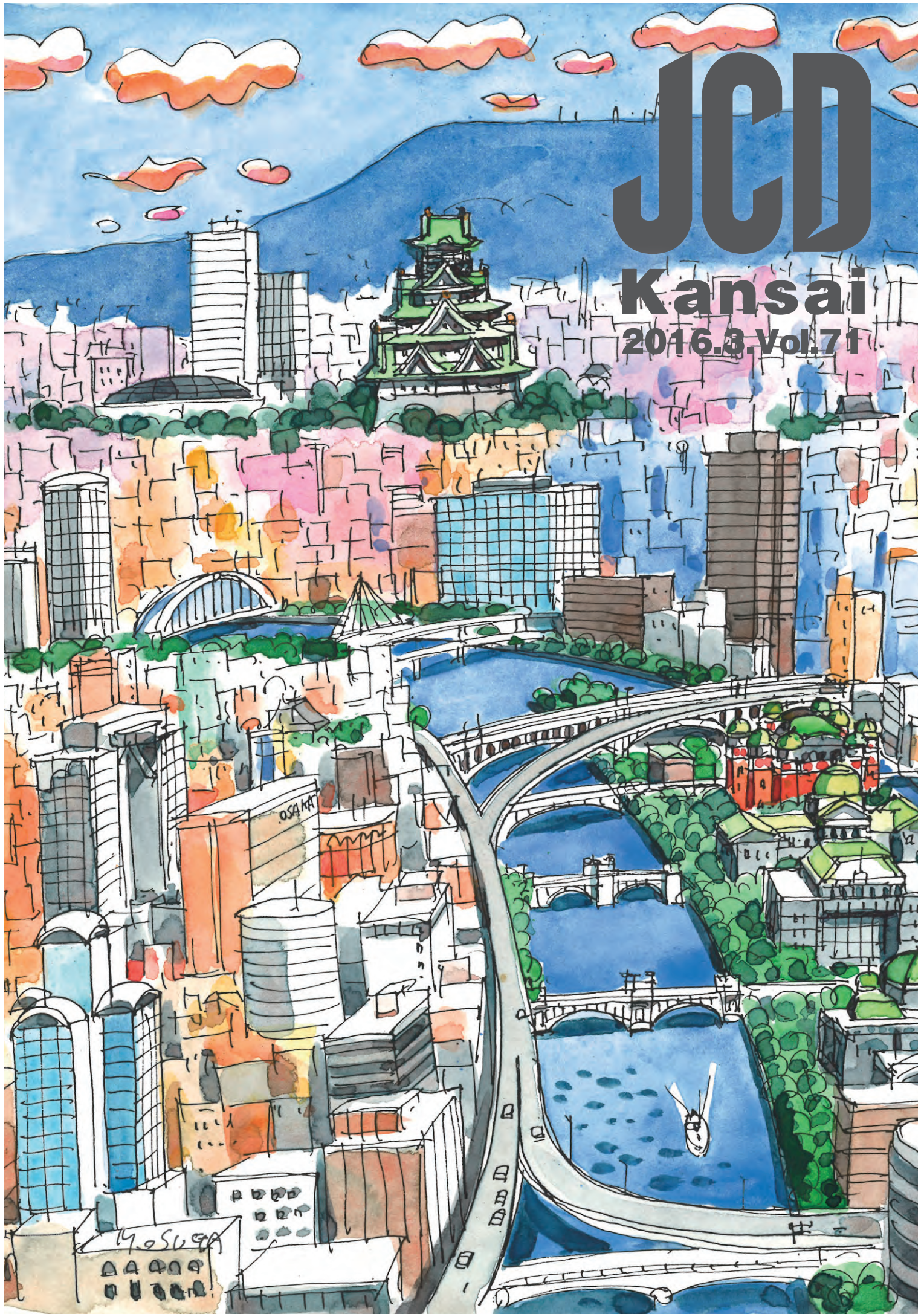


JCD

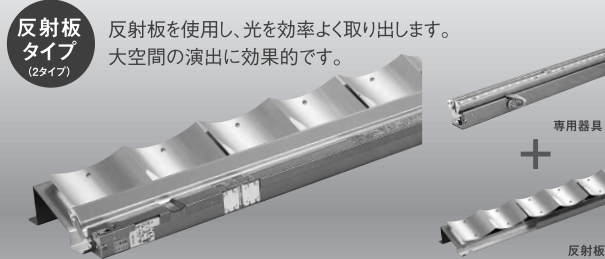
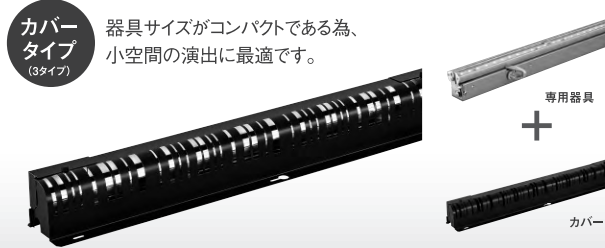
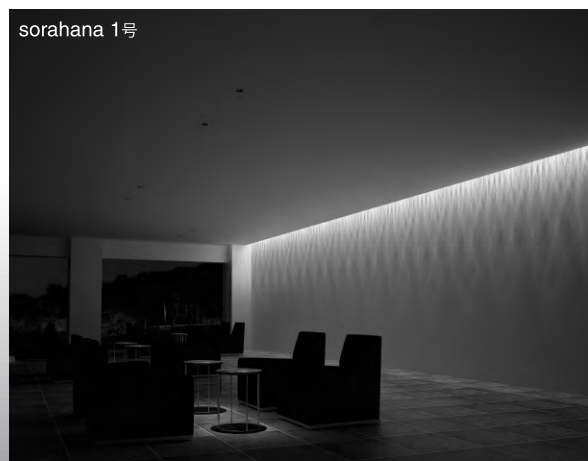
Kansai
2016.3.Vol.71



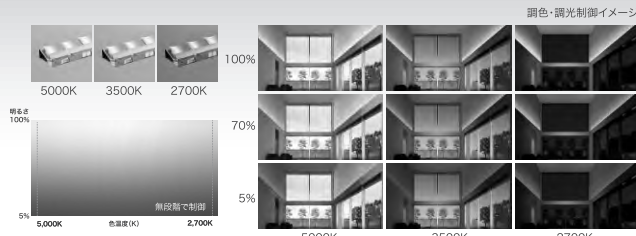
宙華

s o r a h a n a

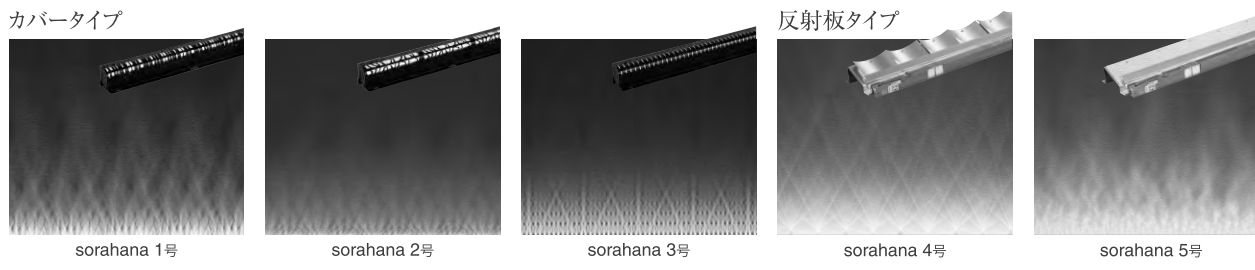
新しい間接照明で空間を上質に演出



光の色と明るさを自由自在に
 さわやかな白い光から温かみのある落ち着いた光まで、シーンに合わせて演出が可能。色温度は5000K~2700K、明るさは100%~5%の範囲で自在に調整できます。



光の模様は、全5タイプ 点光源のLEDがつくり出す光のテクスチャ。「専用器具」と「カバー」/「反射板」の組み合わせから様々な模様を選べます。



大光電機株式会社
 大阪商環境営業部/Tel.(06)6222-6260 Fax.(06)6222-6285
 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7高麗橋ビル



JCD Kansai 2016.3 Vol.71



04 ● 報告
JCD関西支部活動報告
 2015年度 JCD関西支部活動基本方針
 2015年度 関西支部総会 ————— 岡島 昇

06 ● 特集
JCDデザイン賞
 JCDデザインアワード2015 総評 ————— 笠原 英里子
 準大賞/金賞/銀賞 他 ————— 橋本 夕紀夫

11 ● 報告
委員会報告
 2015年 日本の空間デザイン展 ————— 山田 悦央
 関西デザイン学生シンポジウム2015 ————— 岡島 昇
 夏休み! 親子de体験セミナー こどもたちと創る空間 ————— 中村 裕輔
 JCD関西支部 トークイベント&クリスマスライブ ————— 浦田 恭資
 ————— 橋本 健二

16 ● 報告
委員会報告
 2015年度 組織検討委員会 活動報告 ————— 東 潤一郎
 2015年度 広報委員会 活動報告 ————— 大東 俊也

17 ● 連載
Working Now
 新入会員紹介 ————— 鶴岡 輝幸

2016年(平成28年)3月号
 vol.71 平成28年3月発行
 発行/一般社団法人
 日本商環境デザイン協会
 関西支部
 〒559-0034
 大阪市住之江区南港北2-1-10
 ATCビル ITM棟10階A-1
 (財)大阪デザインセンター内
 Tel./Fax. 06-6613-5557

広報委員会
 委員長/大東 俊也
 担当理事/白井 進
 委員/岡島 昇(副委員長)
 斎藤 俊二 栄 隆志
 佐藤 史仁 高橋 健太
 村田みどり

制作/グラフィックアーツ ベルテ

2015年度 JCD関西支部事業基本方針

【組織検討委員会】

委員長：東 潤一郎 相談役：金沢明彦

会員増強の強化策の検討

- ・正会員増強の為の策を検討。
- ・昨年度に引き続き会員増強策（ジュニア・シニア等）を検討します。

【研究委員会】

委員長：中村裕輔 担当理事：末浪伸浩

デザインによる社会貢献 / 会員のスキルアップ

- ・SODA事業 27年度は7月19日（日）に実施。
- 於：住まい情報センター
- （大阪デザインサロンとの連携 JCDデザインサロンの継続）

【広報委員会】

委員長：大東俊也 副委員長：岡島昇 担当理事：白井進

会員相互における情報の共有化 / JCDの見える化

- ・年1回のJCD Kansaiの発行
- ・facebookのさらなる活用、HPの強化他、JCDの広報活動や情報アーカイブづくり全般の実施。

【交流委員会】

委員長：浦田恭資 相談役：衣笠和宏

会員の親睦を図る交流会開催

- ・支部総会および年末のクリスマスパーティの開催
- ・各種イベントの実施支援

【新・賛助委員会】

委員長：山田悦央 担当理事：衣笠和宏

賛助会員との相互協力関係の構築

- ・JCD賛助サロンの検討。

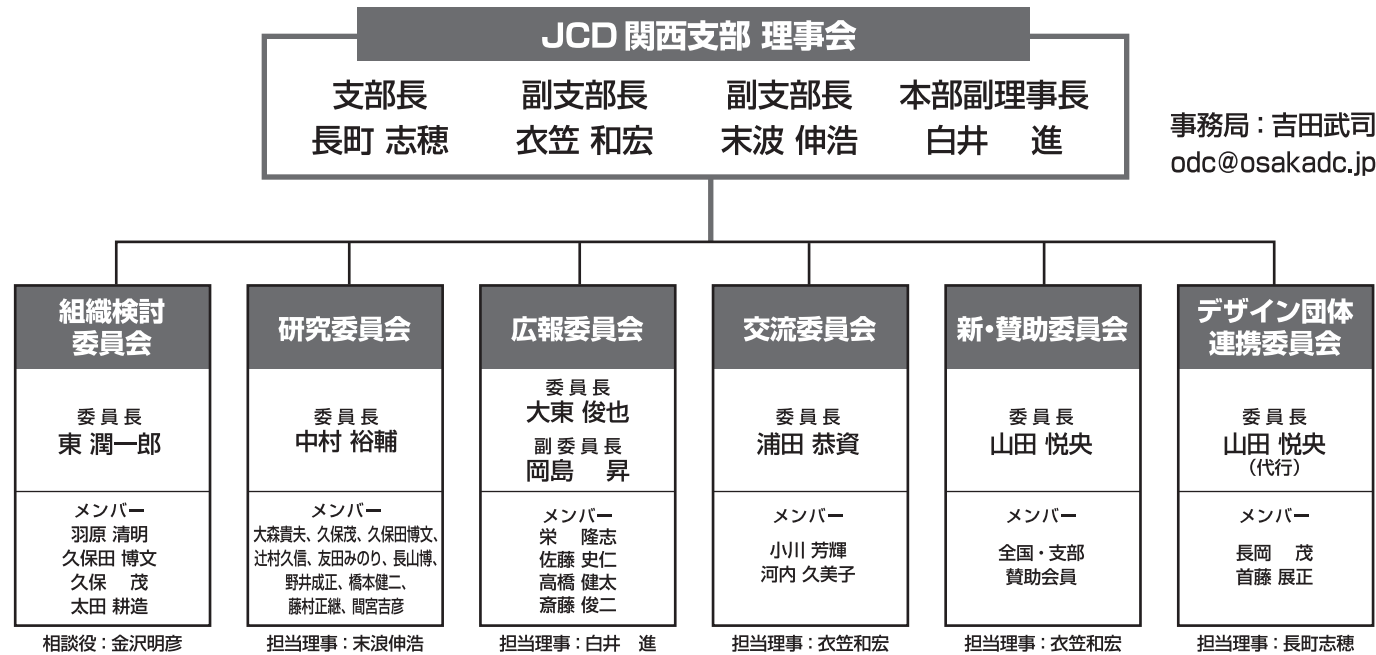
【デザイン団体連携委員会】

委員長：山田悦央（代行）

各デザイン団体との関係強化

- 大阪デザイン団体との交流を通じてのデザインビジネスの積極的な参加、及び関西のまちづくりに対する取り組みへの組織づくり。
- ・大阪デザインサロン
- ・関西学生デザインシンポジウム
- ・日本の空間デザイン展

2015年度（一社）日本商環境デザイン協会・関西支部 組織表



2015年度 関西支部総会

広報委員会 副委員長 岡島 昇

6月15日（月）、会場は「THE GARDEN ORIENTAL OSAKA」にて関西支部総会が開かれました。

「THE GARDEN ORIENTAL OSAKA」は世界中の賓客をもてなすために大阪市が誇りをかけて建てた迎賓館「大阪市公館」昭和34年の竣工以来、日米市長及び商工会議所会頭会議や、その後にはAPECなど歴史的な国際会議も開催した場所です。設計は大阪株式取引所や大阪市立図書館などの建築設計に携わり、関西建築界に名声を博した竹腰健造。モダニズムの造形美を基調とした格式高い「大阪市公館」は、その代表作に挙げられます。2014年11月に「THE GARDEN ORIENTAL OSAKA」として生まれ変わり、新たな歴史を刻みはじめています。

17:15分からの支部総会では本部総会議決事項及び事業報告後、長町支部長より2014年度の支部決算及び昨年度活動報告、さらに今年度の組織及び関西支部事業基本方針が発表されました。「27年度が同じやり方で良いとは思っていない、各委員長の衆智を集めて活動の活発化を図りたい。また自身の時間が取れないなどの制約があるときには山田支部長補佐にも強力な補佐をお願いする」と要望されました。

引き続き6つの委員会の各委員長から今年度の活動方針の具体化が発表されました。広報委員会 大東委員長からは活動の基本となるJCD支部活動の広報の他、交流委員会のPR協力や会員増強への組織検討委員会へのバックアップを図る。交流委員会 浦田委員長からは会員に来ていただける目的を持ちえる交流会の開催。研究委員会 中村委員長からは7月19日に開催予定の「SODA事業」他、デザインセミナーの開催。組織検討委員会 東委員長からは1年間の活動内容の報告と今後のジュニア及びシニア会員組織の仕組み素案発表。その他、新・賛助委員会 山

<2015年度 JCD関西支部総会>

日 時	2015年6月15日(月)	
	総 会	17:00～
	会場見学会	18:00～
	懇親会&賛助会員PR会	18:30～21:00
場 所	GARDEN ORIENTAL OSAKA	
参加者数	43名	

田委員長より、デザイン団体連携委員会は山田相談役が代行を行う。といった各委員会の具体的活動方針が発表されました。

白井本部副理事長の総会終了の挨拶後、会場の見学会が行われました。約4000坪の敷地に広がる緑床棚芝生と庭園。茶室と音楽ホールを経て屋上テラスからは大阪城が見渡せ、テラスではシャンパンを頂きました。その後18:30からは賛助委員会のPR会の開始です。いつものことながら各メーカーの皆さまのユーモアを交えての商品PRはユニークかつ面白く聞かせて頂きました。賛助会員の皆様には正会員との関係性をさらに高められる場づくりの必要性を改めて感じています。

引き続き19:00から始まった懇親会では直前に行われた各メーカー様の元気なPR会の延長で和やかなで活気ある懇親会になりました。歴史ある会場の雰囲気もあいまって楽しい交流の場になりました。

こういった楽しい交流会ではいつも思う事ですが、賛助委員会と正会員の交流の場がもっとあればいいのと思います。同じ業界にいる皆様との交流の場がこれからも開かれることを期待します。正会員の皆様ももっと気楽に集まれる場を交流委員会とともに作り上げ、もっと元気で活気ある関西支部にしていきたいと思います。



JCDデザインアワード2015 審査経過報告

JCDデザインアワード委員会委員長 笠原英里子

JCDデザインアワード2015は、昨年同様1.ショップ空間2.食空間3.大規模空間4.サービス・エンターテイメント空間5.文化・公共コミュニケーション空間6.公共生活空間の6部門別でインターネットによって作品を募集した。応募総数は史上2番目となる512点。近年最多の応募数のうち海外からの応募は91点にのぼり、2割弱が海外応募(台湾、香港、中国、韓国)となった。

一次審査では審査員27名のネット審査によってBEST100の作品104点を選出。二次審査は7月4日東京デザインセンターにて公開審査形式で行われた。審査員は橋本夕紀夫を審査委員長とし小坂竜、JCD外部からは木田隆子、谷川じゅんじ、永山祐子、服部滋樹、水野

誠一各氏の7名に依頼。まずBEST100から銀賞以上27作品を部門別に出選、そのなかからさらに金賞以上7作品を選んだ。最終選出では長時間に及ぶ白熱した議論の末、大賞該当作品はなし、準大賞3点という異例の結果となった。

今年の審査員は幅広い分野から選出し、個性的な顔ぶれが集まる審査となったが、デザイン、プログラム、コミュニケーション、技術、ソーシャル等様々な視点からの論議・検証が行われ、JCDデザインアワードが今後どういう方向に舵を切っていくのかにも議論が及んだ。また今年に入賞作品の金賞、銀賞に海外作品も入っている。

JCDデザインアワード2015 総評

橋本夕紀夫

今回のJCDデザインアワードを通じて、あらためて商環境におけるデザインの役割や意義が問われたのではないかと思う。商環境は業態や目的が多様多様にあり、それを作り上げるためのデザインのアプローチもさまざまである。いずれにしても商環境は商業という目的を達成するためのものであり、それを形成するデザインのコンセプトもその目的を達成するように考えられるべきである。しかし、はたしてそれだけでいいのであろうか?その疑問が今回の審査会での最大の論点になったのではないかと思う。512点の応募作から選出されたBEST100点の作品群はどれもがおしなべて質が高く、安定感のあるものばかりであった。しかしながら、あえて誤解を恐れずに言うと、職業的なものが多かった気がする。いわゆるプロフェッショナルな仕事を感じるのだが、他方でどこかで見たことがあるような手法のものが多く、鮮烈なオリジナリティを感じるものが少なかったように思う。

そんな中で大賞を目前とした最終選考に残った数点は何れも明確な意思を持ち、強いメッセージ性を備えていた。今回は結果的に大賞は選出されず準大賞が3点という事になったが、それぞれが全く違う視点でこれからの商環境に対する提案がされていたように思う。

この3点の中で、ONOMICHI U2が最も社会性が高く地域活性化を担うまさに商環境の役割をはたしているのだが、何よりもどこか懐かしさを感じる街なみのような環境作りが素晴らしかった。一方イグアナアイ青山メインストアーはデザイン的に今までにない新しい表現にチャレンジしており、すがすがしい空間であった。ステラマッカートニー青山は、街なみに対してそのファサードが圧倒的な美しさを放っているが、これは最新の技術によって成し遂げられたものである。それぞれの物件は、社会性、芸術性、技術力において今までにない新しい価値観を創出しようとしているのではないだろうか。

●選考点数一覧表

	応募総数			入賞点数	準大賞	金賞	銀賞	新人賞	審査員賞
	国内	海外	計						
1 ショップ空間	89	13	102	9(13)	1		7	(1)	(3)
2 食空間	97	8	105	4	2	1	3		
3 大規模商空間	22	5	27	3	3	1	2		
4 サービス・エンターテイメント空間	68	15	83	7(8)	4	1	4	(1)	2
5 文化・公共コミュニケーション空間	32	14	46	2	5	1	1		
6 公共生活空間	113	36	149	5	6	1	3		1
合計	421	91	512	30(35)	3	4	20	(2)	3(6)

準大賞 ONOMICHI U2

SUPPOSE DESIGN OFFICE 株式会社 / 谷尻誠+吉田愛
所在地: 広島県尾道市

歴史的建造物の再利用は、いま世界的なテーマです。そんな中「未来の匂い」を感じたのがONOMICHI U2。ここでは、しまなみ海道のサイクリングロードの起点として出来た、サイクリストのための複合施設。海に面した築100年の県営倉庫をリサイクルして、内部に新築空間をつくり、そこをホテルに。使ったのは、古民家や造船の街にちなんだ素材。尾道の路地裏のざわめきを空間に持ち込み、インテリアにも時が磨いた空気感をいかした。懐かしいけど、新しい。地元だけどグローバル。ラスティックだけど洗練がある。地方の社会的課題に応えるための、いま共感を呼ぶスタイルが出てきた。これからは地方にエッジが立つ時代、その先駆けをなす仕事だと感じた。

執筆者:
木田隆子



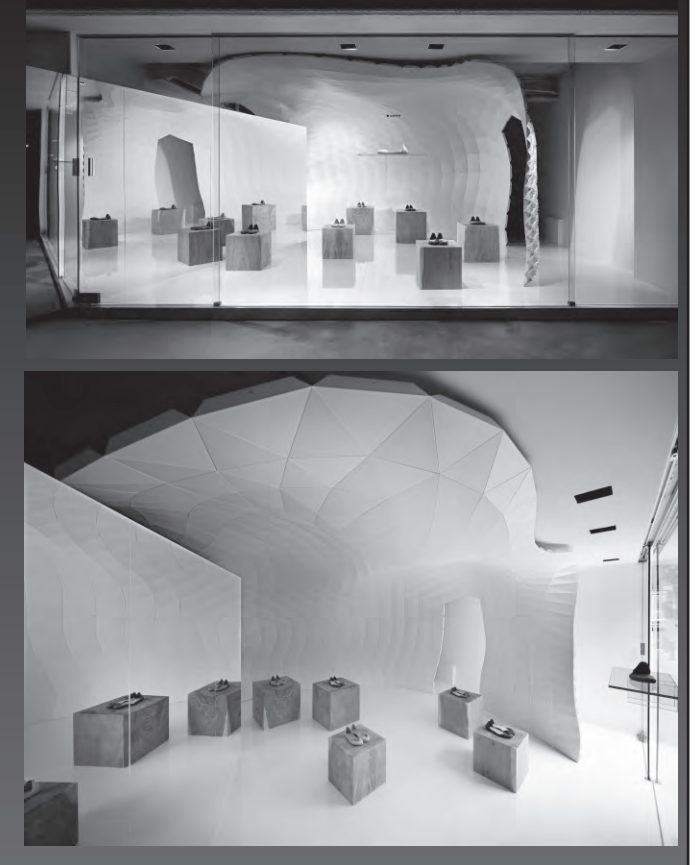
準大賞 イグアナアイ青山メインストアー

株式会社水谷壮市デザイン事務所 / 水谷壮市
所在地: 東京都港区青山

今迄インテリアデザインは様々な試みがされてきた。アーティスティックな表現、新技術や新素材による空間表現、あるいはあえて仕上げないという試み。建築の構造体に守られた内部空間は、非常に自由な場であり、ありとあらゆる新しい価値観を表現するための実験場でもあった。しかしそれらの多くが物理的には仕上げであり、造作であり、装飾であるという域を超えてはいなかった。

しかしこのイグアナアイ青山メインストアーは、いままでのインテリアデザインの文脈とは少し違った方向を示しているように見える。三角形の金物のパーツで組み上げられたこの空間は、有機的で洞窟のようでもある。これは構造体であると同時に一つの情景をも作り上げている。言い方を変えると厳格さを保ちながらも情動的なのである。これは建築とインテリアのわずかな境目に位置する空間と言えるかもしれない。

執筆者: 橋本夕紀夫



準大賞 ステラマッカートニー青山 建築設計：株式会社竹中工務店 鈴木 重則
店舗インテリア設計：Stella McCartney/Stella McCartney Store Planning

デザインの向こうに“気配”を感じた作品。
街の文脈の中に忽然と現れ喧騒の中に佇むその存在はシンプルでありながら奥行きある美意識を滲ませた禅的アプローチとブランドの持つバロック的世界観を融合する二律双生を可視化。
大胆なカンティレバー構造と江戸小紋のモノグラムの組み合わせは意匠と機能の融合による空間デザインであり、ブランドの遺伝子を美式化したまさに日本的空間構成の妙といえる。
インポートブランドでありながら日本的「和」の世界観を見事に昇華し織り上げた感性は、周囲の強烈な建

築群の中においてもポジティブな異彩を放ち存在する。まさに時代の表現として最も相応しい素養をもったデザインとして評価し選出したものである。
執筆者：谷川じゅんじ



銀賞 茅乃舎日本橋店 隈研吾建築都市設計事務所 / 隈研吾+宮原賢二+神谷修平
銀賞 Lanterns LEE CHUNG LIN/YUN-YIH DESIGN COMPANY (台湾)



銀賞 BbyB.GINZA デザイン：有限会社 nendo / 佐藤オオキ
共同設計：株式会社乃村工藝社 / 堀田真澄+鈴木祥平
銀賞 トリバコーヒー銀座本店 株式会社乃村工藝社 A.N.D / 宮里貴司



銀賞 小さな舞台 佐藤事務所 / 佐藤美輝+椎野圭洋
銀賞 西天満 鮭しお津 STILE / 大原宇貢



金賞 ひとしなや 株式会社松井亮建築都市設計事務所 / 松井亮
金賞 中央線高架下プロジェクト コミュニティステーション東小銀井
モビリティステーション東小銀井
株式会社リライトデベロップメント / 古澤大輔+初山真人



金賞 Greenery, Yard SYU SHENG-SIN/Sun-Life Interior Design (台湾)
金賞 Rebirth 株式会社松井亮建築都市設計事務所 / 松井亮



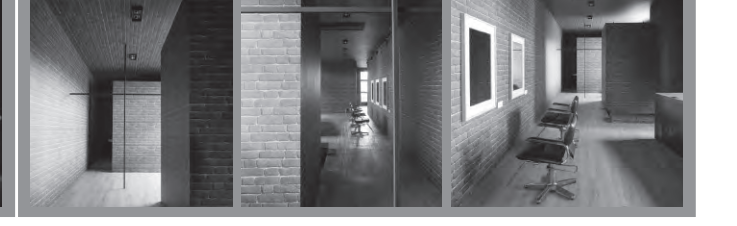
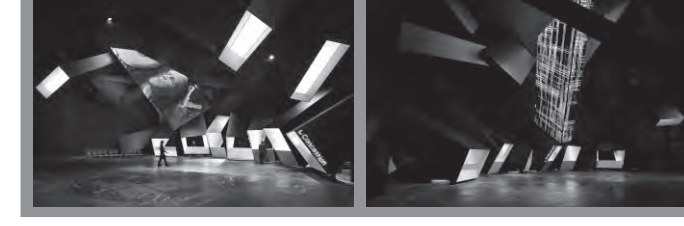
銀賞 鮭にしおか 株式会社 match / 竹中隆士+佐賀予規
銀賞 Farmus 木島平 一級建築士事務所スターパイロット / 三浦丈典



銀賞 NOCO 株式会社竹中工務店 / 帽田秀樹+黒田隆士
銀賞 箱根山テラス ランドスケープ：有限会社オンサイト計画設計事務所 / 長谷川浩己
建築：株式会社アイダトリエ+名古屋市立大学久野研究室 / 会友友朗+久野紀光



銀賞 Exploded Ajax Law Virginia Lung / One Plus Partnership (Hong Kong)Limited (香港)
銀賞 Un Calin タカラスペースデザイン株式会社 / 湯口巖



銀賞 大阪国際平和センター

株式会社乃村工藝社 / 吉永光秀+高橋勇人+小阪雄造



銀賞 ブルーボトルコーヒー 清澄白河ロースタリー&カフェ

有限会社スキーマ建築計画 / 長坂常



銀賞 HIGO

建築設計: 株式会社 nA ナカヤマアーキテクト / 中山眞琴+藤田麻由子
構造設計: 元・株式会社日建設計 / 山脇克彦+株式会社北海道日建設計 / 小谷卓司



銀賞 はくすい保育園

山崎健太郎デザインワークショップ / 山崎健太郎



銀賞 お米や

有限会社スキーマ建築計画 / 長坂常



銀賞 mokuzai.com-MARUHON

インテリアデザイン: 株式会社フィールドフォー・デザインオフィス / 志村美治+井筒英理子



銀賞 筒井時正玩具花火製造所

design office TERMINAL / 宗像友昭



銀賞 maWaRu

一級建築士事務所 ageha / 山上里美



谷川じゅんじ 109 シネマズ二子玉川

株式会社フィールドフォー・デザインオフィス / 大久保敏之+島田雄太



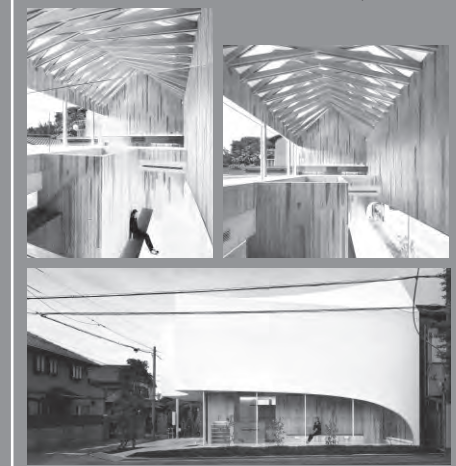
水野誠一 Dolphin (Beauty salon)

タカラスペースデザイン株式会社 / 安井太志



永山祐子 木の歯科

株式会社平沼孝啓建築研究所 / 平沼孝啓



2015年 日本の空間デザイン展

デザイン団体連携委員会 委員長 山田 悦央

本年度の日本の空間デザイン展は、11月20日(金)~24日(火)まで、グランフロント大阪の(株)サンワカンパニー「大阪ショールーム」で開催した。

本年度も日本の空間デザイン系4団体が各ジャンルごとに開催されたコンペイションJCDデザインアワード2015・JID AWARD 2015・第49回SDA(サインデザイン)賞・DSA日本空間デザイン賞2015の優秀な入賞作品を展示した。

若手クリエイターや学生らが多数来場した。また現

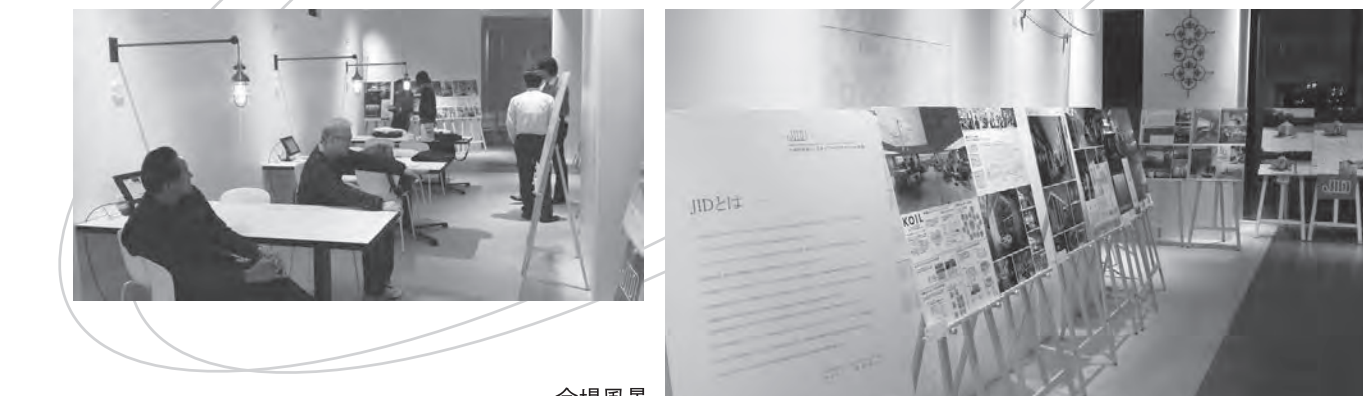
<2015年 日本の空間デザイン展>

日時: 2015年11月20日(金)~24日(火) 11:00~19:00
会場: グランフロント大阪 サンワカンパニー 大阪ショールーム
来場者数: 約400名

在の日本の空間デザインの潮流を情報発信すると同時に、空間デザインを通じた住環境への意識や関心を高めることをアピールできた。



準大賞の3作品



会場風景

JCD/JIDA/JID/
KIPA 4団体共催 関西デザイン学生シンポジウム2015&PARTY

広報委員会 副委員長 岡島 昇

3団体共催の「関西デザイン学生シンポジウム」が、去る10月12日にサンワカンパニー大阪ショールームで開催された。今年のテーマは「fairy tale/フェアリーテール（童話・おとぎ話）」。

誰もが幼少のころに出会い、思い出もたくさんあったり、大人になっても変わらず好きな人もいます。そんな「フェアリーテール」というテーマを、4団体から選出された学生たちがどう捉え、どう感じ、どう考え、それをどう表現したのか等のプレゼンテーションが行われた。

「Team・JCD」のメンバーは大阪モード学園／インテリア学科の10名、「JID・Junior」からは神戸芸術工科大学／プロダクトデザイン学科の3名と大阪芸術大学／デザイン学科から2名、「JID・ACT」からは摂南大学のメンバー、そして「KIPA」推薦の行吉学園神戸女子大学／家政学部 きまちゼミの10名がバラエティ豊かに「国立競技場」から「眠りを誘う時計」までさまざまな「フェアリーテール」を解釈した発表でした。

それぞれの発表後に、コメンテーターからはプロ目線の厳しい指摘と同時に、デザインの可能性についての愛情あるコメントも多くいただきました。

コメンテーターからの総評は次の通り。

中村氏（KIPA） 発表がスムーズであった事、テーマ

＜関西デザイン学生シンポジウム2015＞

日時：2015年10月12日(月・祝)
関西デザイン学生シンポジウム 17:30～19:50
PARTY(ポットラック・パーティー) 20:00～21:00
コメンテーター：東潤一郎(JCD) 竹綱章浩(JIDA)
鈴木儀雄(JID) 中村俊郎(KIPA)
会場：サンワカンパニー大阪ショールーム
参加者数：約100名

自身が形にすることが難しいものであると感じた事、デザインの過程も発表した事が今回の価値になった。

鈴木氏（JID） 今回のプレゼンは現実的になり過ぎていたのではないかと、テーマから言うともっと夢があるものでも良かったとも思う。

竹綱氏（JIDA） 合同での発表が多かったが、「テーマ」や「キーワード」を皆でどれだけ議論したかの問いかけがあった。

東氏（JCD） いつも感動を覚える、「コトのデザイン」が多かった。今回の「テーマ」は難しかった。自由にやれる。なんでもありになる。そこが逆に自由すぎて難しい。どこで形に落とし込むかということが難しい。

今回のテーマは「自由であるからこそ難しい」といったデザインと件への捉え方というのがもう一つのテーマにもなりました。

その後のパーティーでは神戸山手短期大学のメンバーを主に、「フェアリーテール」をパーティのテーマに、テーブルセッティングから会場のデコレーションも作られ、華やかなパーティになりました。ワイン片手に学生と参加者の交流も深まり、あっという間に楽しい時間を過ごせました。



＜大阪市立住まい情報センター+JCD関西支部 タイアップ事業＞
夏休み！親子de体験セミナー こどもたちと創る空間

研究委員会 委員長 中村 裕輔

●ワークショップ 模型でお店をつくらう！

毎年恒例になっている住まい情報センターとのタイアップ事業で、今年も商店街の模型作りのワークショップを開催しました。

模型の大きさは40cm四方程度でスケールは約1/7。まず何屋さんを創るのか決めて、マテリアルを選びながらイメージを膨らませて作業を進めてもらいました。

このワークショップの特徴は、模型づくりの材料を使うのではなく、本物の建築資材を使うことで協賛会社さんにはセミナーの趣旨をご理解いただき、各種の建材を提供して頂きました。

又、最後に照明をセッティングするので、照明の光り方や色もサンプル模型を見て意識してもらうようにしました。

今回特に皆さんに注意して欲しかったのは、店先にある看板でした。例年では看板のない店が多くスタッフに促されて慌てて作るケースが多かったのですが、まず事前に看板の大事な役割を説明し、商店街の視察の際にもお店の入口周りや看板をよく観察するように指導しました。

そのあと行った看板当てクイズでは、全グループが満

＜夏休み！親子de体験セミナー こどもたちと創る空間＞

日時：2015年7月19日(日) 10:30～16:30
場所：大阪市立住まい情報センター3階ホール
参加者：小学生26名 保護者26名 合計52名

点の正解でした。その効果からか、ほぼ全員が工夫した看板を設置し、模型を完成させることができました。「看板は絶対つけましょう」というのではなく、実地で体験したことが良い形で生かされたと感じています。

最後はみんなの作品を並べて商店街をつくり、アイレベルのウォークスルーの動画を撮影。そのあと行われた上映会では、まさしく小人になって夢の国の商店街を歩いているかのようで、子供のみならず保護者の方からも驚嘆の声があがっていました。みんな自分のお店の前を通り過ぎるのをわくわくして見ていました。

参加者は小学生26名、保護者26名で合計52名の方にいただきました。

最後に「皆さんが近い将来自分の仕事を決めるときがくると思いますが、その時に今日のことを思い出し、デザインという仕事もあったなあと考えてくれれば嬉しい」という言葉で締めくくりました。



JCD関西支部 トークイベント&クリスマスライブ

交流委員会 委員長 浦田 恭資

今年のクリスマス会は、デザイナーズアクセス実行委員長 橋本健二さんを中心にトークショーとライブの企画を行っていただきました。

ライブハウスで行うトークショーも盛り上がり、綺麗に盛り付けられたフィンガーフード中心の食事とお酒も進み和やかに進行了しました。

今回のクリスマス会はいつもと違った参加者の一面が垣間見え、また、学生コンペ開催へ向けたプレイベントになりました。

今回は、学生の参加者の増加と参加者の交流をもっと図れるイベントにしていきたいです。



＜トークイベント&クリスマスライブ＞
日 時：2015年12月8日(火) 18:00～21:00
場 所：ライブバー モエラド
参加者数：総入場者125名、ライブグループメンバー、スタッフ220名



JCD関西支部 トークイベント&クリスマスライブ

デザイナーズアクセス実行委員長 橋本 健二

久しぶりのJCD関西のイベントの開催である。私は前回のデザイナーズアクセスの実行委員長を担当し、トークショーやライブなどを企画してきたが、いろいろな問題点も出てきて賛助委員会での厳しい意見も聞いた。それも前向きに捉え、新しい要素も加えたいと考えて今後のJCDの活動を模索していた。今回のイベントのテーマを考える中で数回の委員会を開いた。

提案として出たのは学生を対象としたコンペである。昨今のデザイナーには厳しい就職状況の中で、何か光が見える環境を提案できたらと思い、JCDとして学生コンペを開催していきたいという考えから、今回はそのプレイベントとしてのトークショーとデザイナー参加のライブを企画する事に決まった。

トークショーのゲストとしては、今までの趣向と少し変えてみた。というのもインテリア・建築の世界では専門分野以外の方々の関わりも増えてきた中で、実際に関わっておられる方をお招きした。

まず、電通にお勤めでミスタードーナツのポン・デ・

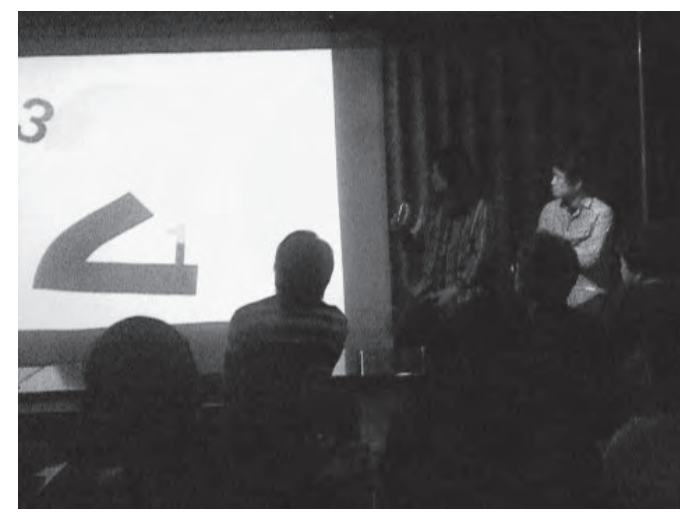
ライオン、SoftBankのiPhoneACアダプタ"itomaki"などをデザインされたクリエイティブアートディレクターの堀内弘誓さん。

もう一人はANA、UNIQLO、いろはす、モテマスカラ、FANCL、キリン淡麗プラチナダブル、森美術館、京都中勢以などのブランディングやキャンペーン開発など国内問わず展開されているアートディレクターの徳田祐司さん。

トークショーは「空間への介入」をテーマにしてお二方の仕事紹介と空間に対する考え方をお聞きした。刺激のある世界観を感じ取れた。

ライブではインテリアデザイナーの間宮吉彦さんのバンド、東京からはイラストレーターのチャンキー松本さん・教育テレビでの番組で有名になられた同じくイラストレーターのいぬんこさん参加の「青空太郎」というシュールバンドが参加し、場を盛り上げた。

今回、告知の時間が短く学生に対して十分な伝え方ができななかったが、次回のイベントでは十分に盛り上がるイベントにしたい。



徳田氏メールより

私は日本グラフィックデザイナー協会の委員をしていますが、今回のような異ジャンルのトークショーの参加は、同じデザインでも大切にしているものや興味が少しづつ違うことに気づく良い機会でした。

ご承知のとおり世の中に存在する、ひとが意図的に創り出したものはみなデザインされていますが人々の暮らしの中でそれらは別々に存在するわけではありません。

現在その役割や形態などでカテゴライズされ各業界に分かれています。しかしデザインを活用する組織が変われどそれは人々の生活や生き方に関するメッセージ。

今後さらに業界を跨(また)いでお互い手を組み、社会にさまざまな体験やヒントを提供していけたらと思います。

この度はこのような会にお招きいただきありがとうございました。



2015年度 組織検討委員会 活動報告

組織検討委員会 委員長 東 潤一郎

組織検討委員会の活動内容は、会員増強の強化策の検討、策定、そして実施です。

昨年度は、現在関西で活躍しているデザイナーへの積極的な入会案内、将来の入会のきっかけ作りとして「(仮称)ジュニア会員」、OB会員の受け皿として「(仮称)シニア会員」の創設について協議を行って来ました。本年度は、それぞれの具体的な枠組みを検討しています。

「(仮称) JCD ジュニア会員・案」

正会員へのルート作り

対象：大学・専門学校デザイン科在籍の学生、経験5年までの社員、スタッフ

会費：無料

USDOのサロンの様な継続した勉強会的活動を運営し、専門知識向上を望む向上心ある人々にとって、参加意義のある組織とする必要があります。

「(仮称) シニア会員・案」

JCD運営にご協力頂いた現役を引退された方

対象：70歳以上で、「永年会員」枠とする。

理事などの資格はない。

会費：正会員の会費の1/3 (諸経費程度の負担)

「来年度の課題」

ジュニア会員・シニア会員、それぞれのメリットを検討し、会員枠の明文化を進め、暫定的でも運営実施へ進めたいと考えています。

前回の報告でも書かせていただきましたが、現在のニーズに合った専門職組織の魅力・その役割を見つけ出し、永続的に活動していくことがまず第一義ではないかと、委員会活動を通じて、個人的には実感しています。

2015年度 広報委員会 活動報告

広報委員会 委員長 大東 俊也

2014年6月に今のメンバーで広報委員会がスタートしました。

その時に掲げた広報委員会の活動内容が、「JCD関西の情報の発信と記録」でした。

具体的には、「情報の発信」では各イベントの発信、正会員の情報発信、賛助会員の新品等の情報発信。「情報の記録」では各イベントの記録、機関誌「JCD kansai」のまとめ。その他では、JCD関西支部の魅力に対内外に広め、活性化させるというものでした。

本年度は、JCD関西支部の魅力に対内外に発信するという取り組みの一つとして、バラバラに活動してい

る委員会を一堂に会し、合同委員会を企画しました。その合同委員会で有志を募り、昨年12月のクリスマスパーティへのイベントへ繋がっていきました。

日々業務に追われるメンバーが多く、なかなか時間がとれないかと思いますが、今後とも全員でJCD関西支部を盛り上げていければと考えています。



広報委員会定例会風景(2016.3.8グランフロント大阪 ナレッジサロにて)



関西支部フェイスブックページより

Working Now

● 新入会員紹介 ●

鶴岡 輝幸 Tsuruoka Teruyuki

株式会社丹青社



Tanseisha

空間づくりのプロフェッショナルとして丹青社が提供する価値、それは『空間づくりによる課題解決力』です。



鶴岡 輝幸
Tsuruoka Teruyuki
株式会社丹青社

〒530-0027

大阪府北区堂山町3-3

日本生命梅田ビル9F

TEL 06-6313-5200

FAX 06-6313-5199

e-mail tturuoka@tanseisha.co.jp

http://www.tanseisha.co.jp/

Working Now

LEDinestra

人気のリネストラランプが、LED仕様になって再登場しました。

シャープでエッジの効いたデザインに、温もりのある

木調の質感を取り入れた、シンプルなソケットタイプ。

光をやさしく包み込むような上品な装いが、

リネストラランプの新たな魅力を引き出す陶器のセード。

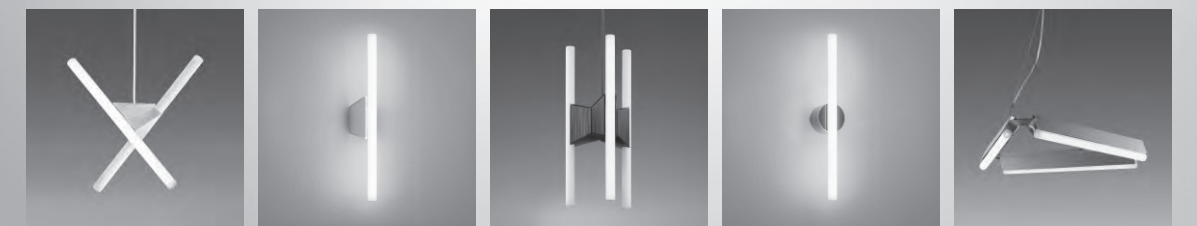
多灯タイプのペンダントでは、ランプの光が器具を照らすことで、

個々の質感と造形がさりげなく醸し出されます。

多様なデザインによる充実のラインナップが、

さまざまなシーンで自由度の高い演出を可能にする、

新シリーズの登場です。



LEDリネストラランプは、7.5W (500mm 片口形) タイプと、4.5W (300mm 片口形) タイプの2種類をご用意しています。

maxRAY
A Harmony of Light and Space
http://www.maxray.co.jp

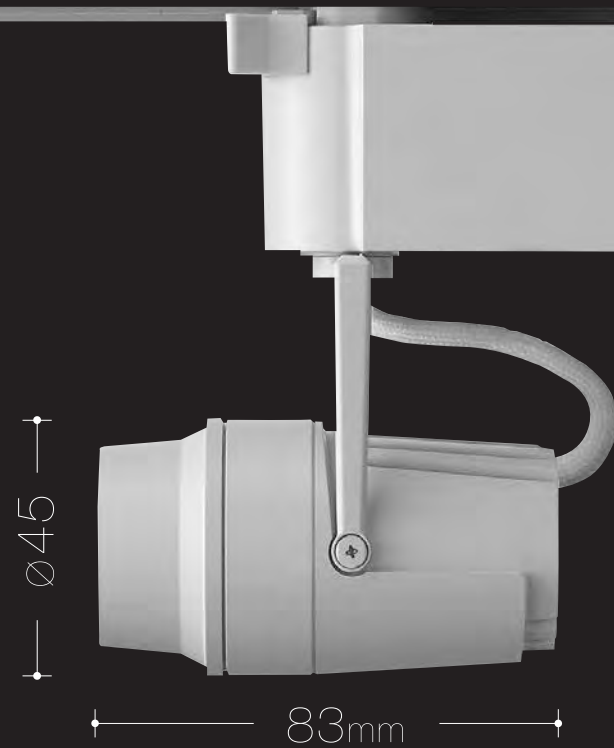
マックスレイ株式会社

東京 03-5456-0311 大阪 06-6304-0505
名古屋 052-252-9556 福岡 092-431-7824

USHIO
GROUP

マックスレイ株式会社は、ウシオグループの一員です。

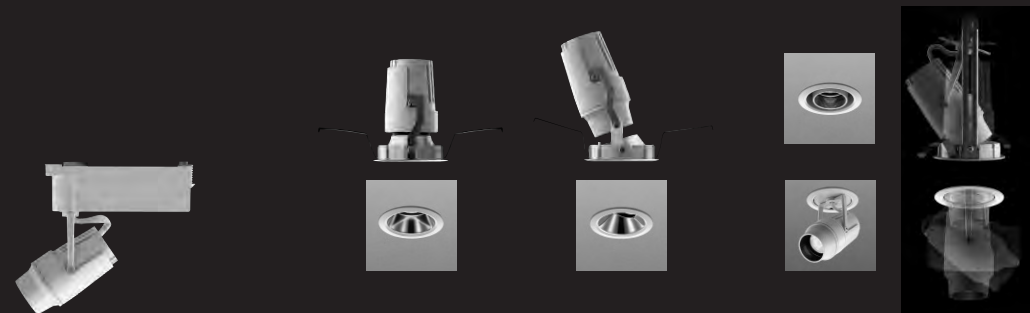
KOIZUMI



ミニマムという存在感。

cledy micro

その小さなフォルムは空間に同化し
優れたパフォーマンスはハイクオリティな光環境を実現して
空間演出に大きな存在感を示します。



<http://www.koizumi-lt.co.jp/>

コイズミ照明株式会社

本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7
東京支社 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3-12

ENDO LIGHTING CORP.

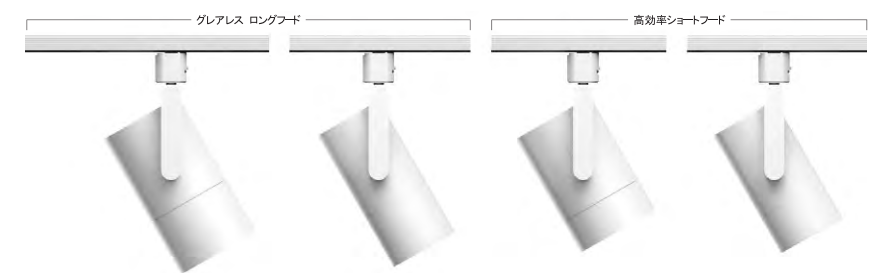
アパレル
ホワイト
納入事例



NEW

電源内蔵のグレアレススポットライト

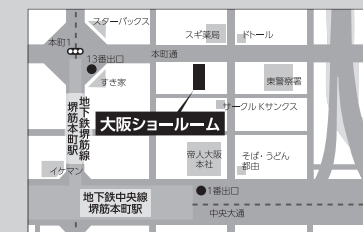
シンプル&ミニマムデザインで、灯体高さも共通。
透明感のある美しい発色にこだわった高演色アパレルホワイト。
最適配光と明るさ(中心光度：カンデラcd)にこだわった、高性能シリーズです。



ENDO SHOWROOM
<http://www.endo-lighting.co.jp/>

遠藤照明 ショールーム 検索

◎大阪ショールーム
大阪府大阪市中央区本町 1-6-19 ENDO本町ビル
TEL(代表)：06-6267-7015



◎東京ショールーム
東京都新宿区若葉 1-4-1 ENDOビル 1F・2F
TEL：03-5369-7177



Panasonic

その光は、
照明にも
映像にもなる。

「商品や空間を照らす」と「情報や映像を映す」を一台で。
SpacePlayerが「プロジェクション・ライティング」という
新演出を可能にします。また、配線ダクトにつなぐだけで
設置でき、照射角度の調整も簡単です。

- 光出力:1,000 lm
- 入力電圧:AC100V 50Hz/60Hz
- 消費電力:125W
- 重量:3.0kg
- 寿命:20,000時間
(初期の50%の明るさになるまで)
- 推奨映像解像度:1,280×800
- レンズ:電動ズーム(1~2.2倍)・電動フォーカス
- 本体のみでSDカードの静止画・動画再生が可能
- 無線LAN:IEEE802.11a/b/g/n
ワイヤレス伝送技術「Miracast」対応
- 音声出力端子:M3ステレオミニジャック
- HDMIは、HDMI Licensing LLCの
登録商標です。



一般的なライティングとして使用

プロジェクション・ライティングとして使用

◎画像はイメージです。

Space Player

スペース プレーヤー



詳しくはコチラ

◎お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 マーケティング本部 都市環境商品営業企画部
〒105-8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号 TEL.03-6218-1131 (代表)

Wonders!
by Panasonic